

大和排水機場の施工状況について

国営かんがい排水事業最上川下流左岸地区は、平成 29 年度に事業着手し、今年度で 8 年目を迎えます。本地区では、湛水被害の軽減及び維持管理の費用や労力の軽減を図るため、排水系統の再編を行うとともに施設の老朽化対策として排水機場、排水路等の新設・改修を行う計画です。

本地区で建設する 6 か所の排水機場のうち最上川の左岸に位置する大和排水機場は、令和 3 年 10 月に工事着手し、現在、土木・建築工事、除塵設備の据付けが完了しました。また、7 月からポンプ設備工事を行っており 11 月に完成する予定です。



最上川下流左岸地区で建設する排水機場



大和排水機場

大和排水機場は既設排水機場に隣接して建設しており、既設の吐出水槽、排水樋管を有効利用し、新設吐出水槽と既設吐出水槽を接続暗渠で繋いでいます。当初の計画では立軸ポンプが使用される予定でしたが、接続暗渠の敷高を高く設置して実揚程を上げる構造とすることでキャビテーションを改善し、経済的な横軸斜流ポンプを採用することが可能となりました。また、ポンプの口径をφ1000mm からφ1350mm にすることで排水能力が 6.65m³/s から 12.2 m³/s となり、旧機場の約 2 倍に強化されます。

今年度、山形県では 7 月末の記録的な大雨で河川の氾濫や浸水、土砂災害など各地で被害が発生しました。大和排水機場建設現場も大雨により工事に影響が出ましたが、受注者と工程を調整し 7 月に土木・建築工事、8 月に除塵設備工事が完成しました。

本地区で建設する 6 か所の排水機場のうち、^{どくじゃ}毒蛇排水機場と中央排水機場が稼働しており、大和排水機場は試運転が 12 月に行われ来年度から稼働する予定です。ほか 3 か所の排水機場も令和 6 年度以降に順次着手する予定で、令和 11 年度の事業完了に向けて着実に事業を推進しており、地元からは残る新排水機場の早期稼働が期待されています。



除塵設備の据付状況



ポンプ設備の据付状況